

問 健康ポイント制度を取り入れる考えは

答 健康増進計画検証の中で検討



田中榮一 議員

【健康寿命づくり】

問 「健康ポイント制度」を取り入れる考えは。

答 生活習慣病が、日々の生活習慣の積み重ねで生じてくるのと同様に、予防・健康づくりは、生涯を通じて継続的に行っていくことが重要となる。継続のためには、個々のモチベーションを高めていくことが重要で、特に自分の体や健康にあまり関心がない方に、新たに取り組んでいただくきっかけとしても、健康ポイント制度などのインセンティブは有用であると考え。今年第2期健康増進計画の中間評価に当たる年であり、その中で検討していきたい。

問

地域包括ケアシステム構築に向けた現状と課題は。

答

白馬村においては、介護保険制度が開始する以前より、地域の医療、介護、福祉関係者、住民と共に、地域の課題について検討を重ねてきた。その積み重ねにより、関係する多職種の間に見える関係ができ、地域で円滑に高齢者を支える体制が形成されてきた。病气やけがで介護が必要になった方には、退院後に速やかに介護サービス等の提供ができています。

高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、障害する原因を遠ざける事が必要。村の要介護認定者の状況をみると、骨折や足腰が弱くなること、認知症、脳血管障害などの生活習慣病の悪化によるものが、約半数を占めており、持病の重症化予防、認知症予防、体操などを通じた筋力、体力低下予防の取り組みを強化していく必要がある。

問

予算不足の要因は

答

協賛金の調整が厳しかった

【FIS公認スキー大会】

問 今年の大会の検証は。

答 大会の予算不足の原因は、雪不足による雪運搬費、入場券の売り上げ収入の減、BS放送に係る経費の増等の要因はあるが、準備期間が少なく協賛金の調整が厳しかった。

問

他県の大会運営等の調査は。

答 競技運営に関しては、国際スキー連盟から毎回高評価を得ている。今後において白馬で国際大会が開催される場合は時間をかけ、十分な運営費を頂けるように準備したい。

問

今後の民泊対応は

答

6月15日以降の動きを注視

【県が公表した民泊】

問 県は解禁される民泊の具体的な規制案を公表したが、村の対応は。

答

県が示した民泊規制に関しては、評価に値する。これから法が施行される段階であり、村として関係者の意見集約に沿い可能な範囲で規制をかせさせていただったので、今後の動きを注視していく。



飯田区における住民指導型避難訓練 改めて支え合うことの大切さを実感